

日本共産党市議団

小野寺幸恵・渡辺 満
工藤 良一・富岡 隆

一般質問

小野寺 幸恵

●生ごみの資源化

新たなごみ

焼却施設を建設する必要が出てくる15年後を見据え、「ごみの減量化が進めば小さな規模の焼却施設でよくなり、財政的な市民負担の軽減になる」と、



生ごみの資源化を提案しました。担当部長は「費用対効果などの情報収集をして検討したい」と答えました。

●車椅子住宅の拡大を

車椅子住宅は、「現に車椅子であること」が条件であり、個数も不足していることから、高齢化の進行にあわせ、条件緩和と個数拡大を提案しました。担当部長は「提案については検討したい」と答えました。

工藤 良一

●学び直しの機会を

若者の中にはいじめなどによる登校拒否や不登校、引きこもりによる基礎学力不足で進学や就職ができない人が200万人もいるこ

とから、学び直しの場として「ナナカマド教室」を利用できるよう

にすることを提案しました。担当部長は「周知、啓発に努めたい」と答弁しました。



●銭湯を守る対策を

市は、条例で銭湯の支援策を進めてきましたが、中心市街地の銭湯が立て続けに2件廃業し、残り1軒では公衆衛生が守られないことを指摘し、「条例だけでは不十分」と対策を求めました。副市長は「銭湯組合と協力して検討していきたい」と答弁しました。

報告

渡辺 満

●草刈の安全対策を

啓北中学校の草刈中に石が飛び、車を破損させた事故による専決



処分の審議で、同様の事故が続いている実態を指摘し「平成27年の議会で安全な草刈業務の改善を提案してきたのに実行していない」

と、検証を求めました。市長は「12月議会までに新しい方向性を示したい」と答弁しました。

決算委員会

富岡 隆

●閉鎖ハイランドの廃棄物

高丘の閉鎖したハイランドスポーツセンターにテレビや洗濯機、



蛍光管などが廃棄されている問題で、管理体制のさまざまな実態を指摘し、改善を求めました。市長は「早急に処理したい」と答弁しました。

●放課後児童クラブの拡充

ウトナイ放課後児童クラブが開設当初から待機児童が発生していることを問題視し、再三にわたって増設を提案してきました。担当課長は「平成29年4月から空き教室を使って30人規模のクラブを実施したい」と答弁しました。

●草刈の完全実施を

道道や国道の草刈が不十分な実態から、北海道の道路維持管理費の増額を要請することを提案しました。市長は「私が責任をもって

要請したい」と答弁しました。

工藤 良一

●避難情報の周知

災害時の「避難準備情報」「避難勧告」「避難指示」などの意味が理解されていないことから周知することを提案し、さらなる市民周知と福祉部の連携が示されました。

●ぬくもり灯油事業

灯油がもたらえる制度と勘違いし、申請をしていなかった方の事例をあげ、親切でわかりやすい周知することを提案しました。

小野寺 幸恵

●後期高齢者医療

高齢者に安心してもらうことを目的に実施してきた保険料の特例軽減を、国が廃止する方向で検討しており、保険料が2倍から5倍になることから、制度のあり方について質問。部長は「過度な負担にならないように国に声をあげていきたい」と答弁しました。

●介護保険制度

ショートステイが不足し緊急時に利用できない問題で、利用状況の実態調査を提案。部長は「包括支援センターなどへ聞き取りをするなどの調査をしていきたい」と答弁しました。